

問題 No.1

次の記述の に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『昨今、小売業界を取り巻く環境は、消費者の意識と行動の変化、情報技術の革新と拡大により、大きな変化を迎えている。いかに顧客に商品を通じて を与えられるかが今後の勝敗を左右する。』

1. 接客サービス
2. 驚きや感動
3. 情報提供
4. 顧客満足度

答 2

問題No.2

「全ての人のためのデザイン」の意味であるユニバーサルデザイン（U・D）は、高齢化社会に向かい重要度を増している。「U・Dの7つの原則」に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 必要な情報がすぐに理解できること
2. 「危険」は赤、「安全」は白を基本とすること
3. 使う上で自由度が高いこと
4. 使い方が簡単で、すぐ分かること

答 2

問題No.3

次の記述の に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『ディマーケティングとは、経済的にある製品やサービスの消費を抑制することを目的とするマーケティング戦略であり、社会的には有害と思われる製品やサービスの需要を マーケティング戦略である。』

1. 減少させる
2. 増加させる
3. 促進させる
4. 喚起させる

【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」Ⅱ 商業を支えるしくみ 6. 流通の役割の拡大 p.53 参照

答 1

問題No.4

次の記述の に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『色彩は視覚によるコミュニケーションの場になくてはならないものである。日本工業規格（JIS）は事業所や災害防止など、基本色8種類をそれぞれの色の意味する内容が定められている。赤は禁止、青は、黄色は注意、緑は安全である。』

1. 冷静
2. 危険
3. 用心
4. 指示

答 4

問題No.5

マーケティングの4Pと呼ばれるものに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 製品 (Product)
2. 価格 (Price)
3. 販売チャネル (Place)
4. パッケージ (Package)

【解説】

4. 促進 (Promotion) である。

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」II 商業を支えるしくみ 1. 現代の社会と商業 p. 26 参照

答 4

問題No.6

わが国における商業の生成に関する次の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 問 丸 ----- 鎌倉時代
2. 都における東西市 ----- 室町時代
3. 問 屋 ----- 江戸時代
4. 楽市・楽座 ----- 安土・桃山時代

【解説】

「都における東西市」は、奈良時代、「問丸」は鎌倉時代、「楽市・楽座」が安土・桃山時代及び「問屋」は、江戸時代に発達した。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」II 商業を支えるしくみ 1. 商業の歴史 p. 12～13 参照

答 2

問題No.7

小売業態に関する次の記述のうち、成立が最も古いものはどれか。

1. 通信販売
2. 百貨店
3. コンビニエンス・ストア
4. スーパーマーケット

【解説】

1. 通信販売

通信販売業としては、1986年にアメリカメイン州のE.C.アレンが粉石鹼等の郵便により通信販売を始めた。わが国では1876年（明治9）に農業学者津田仙が発行した農業雑誌を媒体として、米国产玉葱の種苗からスタートした。

2. 百貨店

1852年パリにおいて、アリストイドとマルグリット・ブシコウ夫妻が、当時の洋服・反物等を店頭販売した。わが国では1904年（明治37年）三越呉服店であるとされる。

3. コンビニエンス・ストア

コンビニエンス・ストアの代名詞であるセブンイレブンは、1946年創業であるが、その前身であるサウスランド社は1920年頃に取扱いをスタートさせたとされる。わが国では、このサウスランド社がイトーヨーカドーに地域ライセンスを与えたのが1973年で、翌年にセブンイレブン第1号店が東京・豊洲にオープンした。

4. スーパーマーケット

スーパーマーケット第1号店は1930年8月ニューヨーク州ジャマイカに開かれた。わが国におけるスーパーマーケットは、1953年東京・青山の「紀伊国屋」でNCRの協力により、食料品のセルフサービス店であり、高級志向の店舗であった。

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」Ⅱ 商業を支えるしくみ 1. 商業の歴史 p.12～16 参照

答 2

問題No.8

「大規模小売店舗立地法」において、店舗面積に含まれないサービス施設は、次の記述のうちどれか。（法の店舗面積定義による）

1. 店内案内
2. 物品加工修理場
3. 手荷物一時預かり所
4. 食堂・喫茶

【解説】

1～3については、小売りを営む上で必要な付帯施設として店舗面積に含まれる部分であるが、4の「食堂・喫茶」は小売業でないため店舗面積には含まれない。

答 4

問題No.9

商店街の商圈規模分類に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 近隣型商店街
2. 地域型商店街
3. 広域型商店街
4. 都市型商店街

【解説】

1. 『近隣型商店街』は、最寄品中心で地元主婦が日用品等を徒歩または自転車等により日常性の買物をする商店街。
 2. 『地域型商店街』は、最寄品及び買回り品店が混在し、商圈規模は前述の近隣型よりもやや広い範囲から徒歩及びバス等で来街する商店街。
 3. 『広域型商店街』は、百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品よりも買回り品が多い商店街。
 4. 『超広域型商店街』は、百貨店、量販店等を含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、遠距離から来街者が買物をする商店街。
- 以上のことより、4. 都市型商店街は該当しない。

答 4

問題No.10

バリアフリー新法に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 高齢者、身体障害者等の移動等円滑化促進に関すること
2. まちづくりに関係する法律のこと
3. 中心市街地活性化法の一部であること
4. 改正大規模小売店舗立地法に関係すること

【解説】

1. バリアフリー法は、平成18年6月に同法が公布され12月から施行。
2. まちづくりは、中心市街地、都市計画及び大規模小売店舗立地法。
3. 中心市街地活性化法には含まれない。
4. バリアフリー新法に配慮しなければならないが、立地法には含まれない。

答 1

問題No.11

次の記述の に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『平成20年度の改正省エネ法では、これまでの工場・事業所ごとのエネルギー管理から、企業全体での管理に変わった。コンビニエンスストア等の も同様に、加盟店を含む企業全体の年間の合計エネルギー使用量（原油換算値）が1,500k_l以上であれば、チェーン本部が国へ届け出て特定連鎖化事業者の指定を受けなければならない。』

1. ボランタリーチェーン
2. フランチャイズチェーン
3. ネットチェーン
4. サプライチェーン

【解説】

改正省エネ法の記述としているが、流通業のチェーン展開方式の基礎的知識を問うものである。

答 2

問題No.12

平成 19 年 11 月に施行された改正都市計画法では、郊外への都市機能の拡散を抑制する目的で、床面積 10,000 m²を超える大規模集客施設の立地規制が行われる。次の記述のうち、対象となる大規模集客施設の用途に供する床面積に含まれないものはどれか。

1. フードコート
2. 映画館
3. 立体駐輪場
4. 商品倉庫

【解説】

改正都市計画法で出店不可となる、10,000 m²超の大規模集客施設について基本的な知識を問うものである。倉庫は立地法では店舗面積に含まれないが、大規模集客施設には含まれる。

答 3

問題No.13

消費者のニーズに対応した以下の商品区分に対して、それぞれの具体的な商品名と一致しないものは、次の記述のうちどれか。

1. コモディティ商品----- シャンプー
2. ライフスタイル商品----- ビジネススーツ
3. サービス商品----- 運転代行
4. 経験商品----- ディズニーリゾート

答 2

問題No.14

次の商品特性が異なる A、B、C の商品群から、購買頻度が多くなる順に示す組み合わせはどれか。

『 A=最寄品 B=専門品 C=買回品 』

1. A=最寄品 < B=専門品 < C=買回品
2. A=最寄品 < C=買回品 < B=専門品
3. B=専門品 < C=買回品 < A=最寄品
4. C=買回品 < B=専門品 < A=最寄品

答 3

問題No.15

S C M (Supply Chain Management) は、取引先との受発注、生産、配達、在庫などの情報を I T 化により統合的に管理、効率化し、メーカーサイドから参画企業の収益を高める経営管理手法である。次の記述のうち、S C M にあまり関係のないものはどれか。

1. E O S (Electronic Ordering System)
2. P O S (Point Of Sales)
3. V E (Value Engineering)
4. E C R (Efficient Consumer Response)

【解説】

E C R は、製販同盟などと呼ばれる。

答 3